

令和元年度化学物質環境実態調査の進捗状況

令和元年12月13日
環境保健部環境安全課

1. 調査内容

(1) 初期環境調査

環境リスクが懸念される化学物質について、一般環境中で高濃度が予想される地域においてデータを取得することにより、化管法の指定化学物質の指定、その他化学物質による環境リスクに係る施策について検討する際の基礎資料等とすることを目的としている。令和元年度は、表1に示す物質を調査対象とした。

(2) 詳細環境調査

化審法の優先評価化学物質のリスク評価等を行うため、高濃度が予想される地域を含む一般環境中における全国的なばく露評価について検討するための資料とすることを目的としている。令和元年度は、表2に示す物質を調査対象とした。

(3) モニタリング調査

化審法の特定化学物質について、一般環境中の残留状況を監視すること及び POPs 条約に対応するため、条約対象物質等の一般環境中等における残留状況の経年変化を把握することを目的としている。令和元年度は、表3に示す物質を調査対象とした。

2. 精度管理

初期環境調査及び詳細環境調査においては、複数の分析機関が同一の化学物質の分析を行うため、分析機関間の差異及びばらつきが生じる恐れがあることから、これらを事前に把握し、対策を行うことを目的として、化学物質環境実態調査精度管理等業務を実施した。令和元年度の同業務の概要は以下のとおり。

- (1) 共通の標準物質等(内標準物質及びサロゲートを含む。)を配布。
- (2) 標準物質を調製、各分析機関に配布し、ラウンドロビンテストを実施。

また、モニタリング調査においては単一の分析機関による分析であるが、過年度からの継続性を担保するため、国立研究開発法人国立環境研究所及び有識者によって分析機関へ立入調査を行い、実施状況が適正であることの確認を行った。

表1 令和元年度初期環境調査対象物質

番号	調査対象物質	調査媒体				要望施策
		水質	底質	生物	大気	
1	アジスロマイシン	◎				化管法
2	アゾキシストロビン類					PPCPs
	[2-1] (E)-アゾキシストロビン	◎				
	[2-2] (Z)-アゾキシストロビン	◎				
3	o-アミノフェノール	○				化管法
4	アモキシシリン	◎				化管法
5	塩酸メトホルミン	◎				PPCPs
6	シアナミド	◎				化管法
7	1,3-ジオキソラン				◎	大気環境
8	3-[[[(ジメチルアミノ)カルボニル]オキシ]-1-メチルピリジニウム (別名: ピリドステグミン)	◎				PPCPs
9	(4-[[4-(ジメチルアミノ)フェニル](フェニル)メチリデン]シクロヘキサ-2,5-ジエン-1-イリデン)(ジメチル)アンモニウム=クロリド (別名: マラカイトグリーン塩酸塩)	○				化管法
10	セリウム及びその化合物(セリウムとして)	○				化管法
11	タリウム及びその化合物(タリウムとして)	○			○	化管法
12	2-(1,3-チアゾール-1-イル)-1H-ベンゾイミダゾール (別名: チアベンダゾール)	○				化管法
13	チアムリン	○				PPCPs
14	N-ニトロソジエチルアミン	○			◎	化管法
15	N-ニトロソジメチルアミン	○			○	化管法
16	バルプロ酸	◎				PPCPs
17	ピリジン				○	化管法
18	ピリメタニル	◎				PPCPs
19	フルオロ酢酸類					環境リスク 初期評価
	[19-1] フルオロ酢酸	◎				
	[19-2] ジフルオロ酢酸	◎				
	[19-3] トリフルオロ酢酸	◎				
20	3-ベンジリデンカンファー	◎				PPCPs
21	ベンジルパラベン	◎				PPCPs
22	レボフロキサシン	◎				PPCPs

注: ◎は初めて調査するもの、○は過去にも調査しているもの (以下同様)。

表2 令和元年度詳細環境調査対象物質

番号	調査対象物質	調査媒体				要望施策
		水質	底質	生物	大気	
1	イソシアヌル酸	○				化審法
2	環状ポリジメチルシロキサン類					化審法
	[2-1] オクタメチルシクロテトラシロキサン	◎		◎		
	[2-2] デカメチルシクロペンタシロキサン	◎		◎		
	[2-3] ドデカメチルシクロヘキサシロキサン	◎		◎		
3	クラリスロマイシン及びその代謝物					PPCPs
	[3-1] クラリスロマイシン	○				
	[3-1] 14-(<i>R</i>)-ヒドロキシクラリスロマイシン	◎				
4	2,6-ジ- <i>tert</i> -ブチル-4-メチルフェノール (別名: BHT)	○	○	○		化審法
5	<i>N</i> -[3-(ジメチルアミノ)プロピル]ステアルアミド	◎	◎			化審法
6	<i>N,N</i> -ジメチルアルカン-1-アミン=オキシド類					化審法
	[6-1] <i>N,N</i> -ジメチルデシル-1-アミン=オキシド	◎				
	[6-2] <i>N,N</i> -ジメチルドデシル-1-アミン=オキシド	○				
	[6-3] <i>N,N</i> -ジメチルテトラデシル-1-アミン=オキシド	◎				
	[6-4] <i>N,N</i> -ジメチルオクタデシル-1-アミン=オキシド	◎				
7	ビス(<i>N,N</i> -ジメチルジチオカルバミン酸) <i>N,N'</i> -エチレンビス(チオカルバモイルチオ亜鉛) (別名: ポリカーバメート)	○				化審法

表3 令和元年度モニタリング調査対象物質

番号	調査対象物質	調査媒体			
		水質	底質	生物	大気
1	PCB 類	○	○	○	○
2	ヘキサクロロベンゼン	○	○	○	○
3	ヘキサクロロシクロヘキサン類（4物質）	○	○	○	○
4	ポリブロモジフェニルエーテル類（臭素数が4から10までのもの）	○	○	○	○
5	ペルフルオロオクタンスルホン酸	○	○	○	○
6	ペルフルオロオクタン酸	○	○	○	○
7	ペンタクロロベンゼン	○	○	○	○
8	ポリ塩化ナフタレン類	○	○	○	○
9	ヘキサクロロブタ-1,3-ジエン				○
10	ペンタクロロフェノール類（2物質）	○	○	○	○
11	短鎖塩素化パラフィン（炭素数が10から13までのもの）	○	○	○	○
12	ジコホル	○	○	○	○
13	ペルフルオロヘキサンスルホン酸	○	○		